

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 2025年 6月 27日 札幌市長 秋元 克広 様 提出者 住 所 札幌市中央区南1条西1丁目4番地 氏 名 大成建設株式会社札幌支店 理事支店長 山口 祐 輔 電話番号 011-241-1210 (※e-mail:arimto00@pub.taisei.co.jp) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大成建設株式会社 札幌支店
事業場の所在地	札幌市中央区南1条西1丁目4番地
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 615億円 (札幌支店)
③ 従業員数	350人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 : 破碎 ⇒ 再生砕石として再生利用 汚 泥 : 脱水・調質改良 ⇒ 改良土として再生利用、または埋立 廃プラスチック : 破碎、圧縮 ⇒ 原料、燃料として再生利用、または埋立 金属くず : 切断、破碎 ⇒ 原料として再利用 紙くず : 破碎、圧縮 ⇒ 製紙原料等として再生利用 木くず : 破碎 ⇒ チップ・燃料等として再生利用 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず : 破碎 → 再生利用、または埋立混 合廃棄物 : 選別 ⇒ 再生利用、または埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 分別徹底による混合廃棄物排出量の削減 ・ 省梱包、プレカットの推進 ・ 広域認定制度の利用		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各作業所で締結する建設廃棄物処理委託契約書の廃棄物の種類に分別 ・ 分別の徹底による混合廃棄物の削減		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状に同じ		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

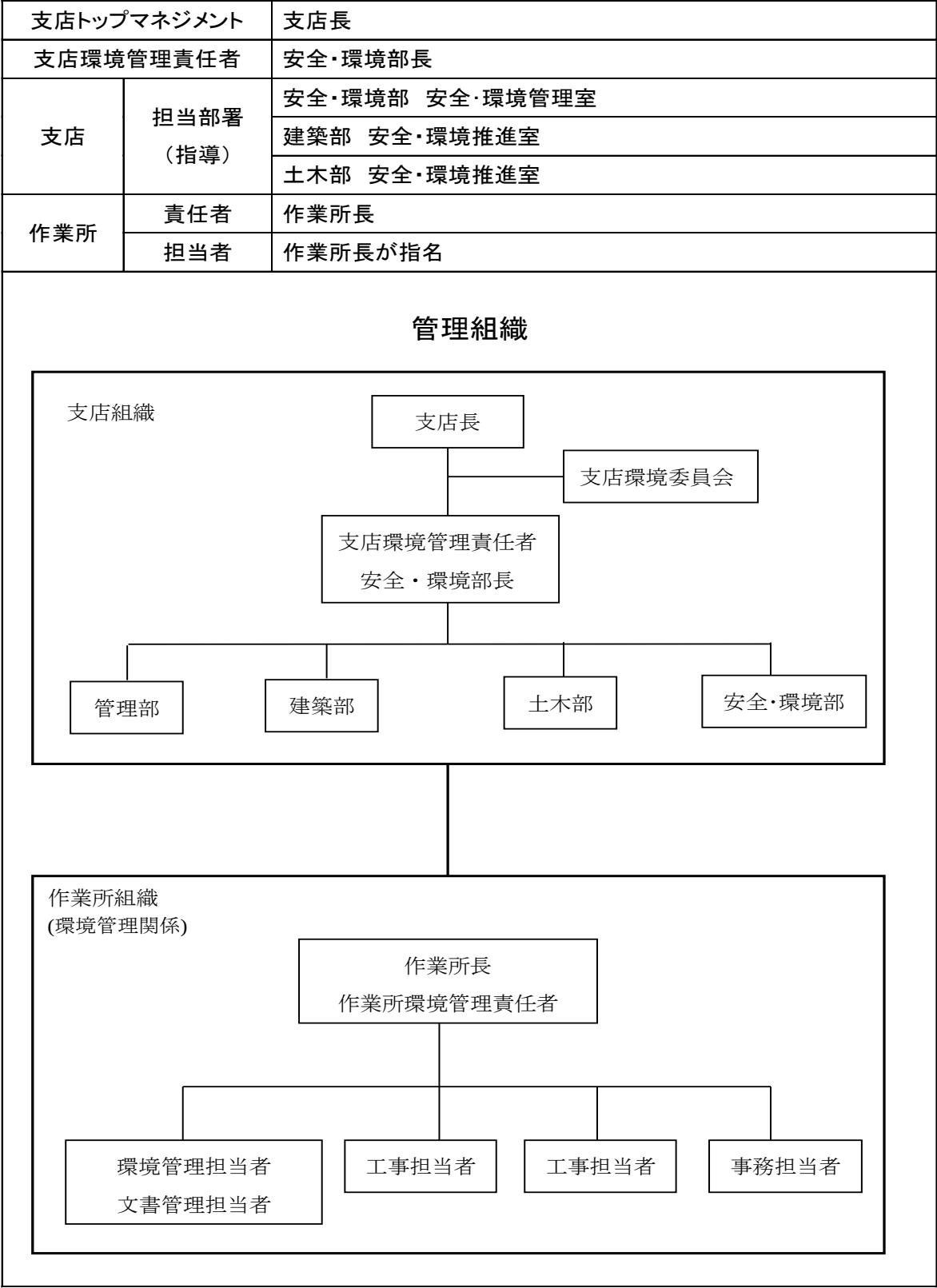
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) - 電子マニフェスト導入の推進 - 委託処理業者指定制度の推進 - 最終処分率の低い中間処理業者への委託 - 可能な限り優良認定処理業者から選定		

	②計画	【目標】 別紙3のとおり		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 現状に同じ		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当事業場における責任及び管理組織図



産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(令和6年度)実績)

別紙2
札幌市
(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	全委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
がれき類	6,025.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6,025.9	1,399.9	4,648.1	0.0	0.0
廃プラスチック類	324.1	0.0	0.0	0.0	0.0	324.1	177.0	0.0	0.0	0.0
ガラス・陶磁器くず	268.4	0.0	0.0	0.0	0.0	268.4	32.9	0.0	0.0	0.0
金属くず	155.5	0.0	0.0	0.0	0.0	155.5	31.8	155.5	0.0	0.0
安定型混合廃棄物	53.4	0.0	0.0	0.0	0.0	53.4	19.2	0.0	0.0	0.0
汚泥	17,675.4	0.0	0.0	0.0	0.0	17,675.4	17,641.9	17,667.6	0.0	0.0
泥水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	34.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.0	3.1	34.0	0.0	0.0
木くず	430.8	0.0	0.0	0.0	0.0	430.8	89.6	430.8	0.0	0.0
繊維くず	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0
廃石膏ボード	385.1	0.0	0.0	0.0	0.0	385.1	149.5	0.0	0.0	0.0
管理型混合廃棄物	1,168.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1,168.1	342.0	0.0	0.0	0.0
廃油	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	12.2	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水銀使用産廃	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
石棉含有産業廃棄物	937.0	0.0	0.0	0.0	0.0	937.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	27,494.3	0.0	0.0	0.0	0.0	27,494.3	19,911.7	22,936.0	0.0	0.0

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度(令和7年度)目標値)

別紙3

札幌市

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		全委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
がれき類	9,641.4	0.0	0.0	0.0	0.0		9,641.4	2,239.8	7,436.9	0.0	0.0
廃プラスチック類	281.9	0.0	0.0	0.0	0.0		281.9	153.9	0.0	0.0	0.0
ガラス・陶磁器くず	233.5	0.0	0.0	0.0	0.0		233.5	28.6	0.0	0.0	0.0
金属くず	135.3	0.0	0.0	0.0	0.0		135.3	27.7	135.3	0.0	0.0
安定型混合廃棄物	46.4	0.0	0.0	0.0	0.0		46.4	16.7	0.0	0.0	0.0
汚泥	15,377.6	0.0	0.0	0.0	0.0		15,377.6	15,348.5	15,370.8	0.0	0.0
紙くず	29.6	0.0	0.0	0.0	0.0		29.6	2.7	29.6	0.0	0.0
木くず	374.8	0.0	0.0	0.0	0.0		374.8	77.9	374.8	0.0	0.0
繊維くず	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0		7.0	7.0	0.0	0.0	0.0
廃石膏ボード	335.0	0.0	0.0	0.0	0.0		335.0	130.0	0.0	0.0	0.0
管理型混合廃棄物	1,016.20	0.0	0.0	0.0	0.0		1,016.20	297.5	0.0	0.0	0.0
廃油	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0		20.8	10.6	0.0	0.0	0.0
水銀使用産廃	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0		4.1	4.1	0.0	0.0	0.0
石綿含有産業廃棄物	815.2	0.0	0.0	0.0	0.0		815.2	0.0	0.0		
合 計	28,318.9	0.0	0.0	0.0	0.0		28,318.9	18,345.1	23,347.4	0.0	0.0